

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：2019年 8月 1日

事業所名 ほたる学園 美濃加茂

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○			適切ですが、もう少し広いと活動の幅が広がります。個別に課題の取り組みを行えるような工夫をしました。
	2	職員の配置数は適切である	○			岐阜県の配置基準に沿って運営を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		一部バリアフリー化されていない所もありますが、車いす等が必要な利用者がいない為、現状で問題ありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に会議を行い改善に努めて参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケート調査等により、保護者の意見を把握し改善に努めて参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		外部への研修の参加を要望するも許可をいただけない。職員間での勉強会を行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			日々の記録を振り返り、会議を行って作成している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業者独自のアセスメントシートを活用し状況を記録しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員会議をもとに行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			一か月の療育内容を振り返り、課題の提供を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			休日、長期休暇は、活動が固定化されないように計画を立てています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			子どもの発達年齢、障害特性を踏まえて作成をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝のミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		支援後にミーティングは行っていないが、支援記録に記載し職員で共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			子どもの活動への取り組み方や様子、職員の対応などを記録しミーティングで検討し改善に努めています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングを行い、必要であれば見直しを行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			ミーティングで職員全員で確認を行いし改善に努めています。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者、児童指導員を中心に参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		下校時刻表をもとに送迎計画を作成しています。引き受け時にその日の様子を伺ったり、問題行動など送迎時や電話などで連携を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			医療的ケアが必要な利用者は通所しておりません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			情報提供の依頼を受けた先にはおこなっておますが、その他の機関などにも情報提供ができるように努めて参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在、該当者はいませんが、今後は情報提供に努めて参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		モニタリングや電話、面談等で実施しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	イベントに参加していただきました。今後も積極的に取り入れていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	参加はしていません。機会があれば参加していきたいと思います。
保護者 への説明 責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎時、電話、面談等と通して共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		具体的なペアレントトレーニングではありませんが、相談を受けた時などに話をしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に分かりやすく説明するように努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度、適切に助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	父母会の活動支援は行っていませんが、親子イベントの際に交流する機会を設けています。今後も定期的に行えるように努めて参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合には、報告・相談をして、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	今後、検討して実施できるようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		職員は雇用契約時に秘密保持契約書に署名し、利用者は個人情報契約を交わしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳に様子を知らせたり、送迎時や電話で直接話をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベントや講演会に招待をしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		職員は周知しています。保護者への周知は今後検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練は半年に1回、行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に虐待チェックシートに記載し、外部の虐待防止研修に参加し、職員に周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				身体拘束は行っていません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				医師からの指示書は扱っていません。保護者から情報を聞き取り対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットの記載は行っていますが、事例集の作成までは至っていません。